

# 原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール [antiatom55@hotmail.com](mailto:antiatom55@hotmail.com) 2008年7月2日 No.60

## 世界大会パンフ6568部、昨年をうわまわる 歴史的世界大会成功へ総力あげて奮闘 大阪

大阪原水協は7月2日現在、昨年の大会パンフ普及実績 6495 部を超えました。草の根からのパンフ学習をすすめ代表派遣につなげようと6月末、第2次の団体要請行動などすすめ訴えてきました。八尾、城東地域原水協などは再建・活性化とむすび、代表派遣のとりくみをすすめています。

大阪は現在、「国民平和大行進東京 - 広島コース」のまっただ中。8月1日「海外代表と語ろう・ピースイン大阪 2008」を予定しており、これにむけ府下全域でのとりくみをひろげ、世界大会代表派遣運動をおしあげようと奮闘しています。

### いつもカバンにパンフ、バッジを - 中央保健生協が350部を活用 - 広島

世界大会パンフは核兵器をめぐる情勢と活動方針を分かりやすく示しています。これを使って学習会をひらいたところからは「情勢の発展にドキッとさせられた」という声も寄せられています。

広島中央保健生協は例年を大きく上回る356部のパンフを活用、学習を広げています。

### 代表派遣軸に各団体・地域の取り組み開始 - 山梨から「青年バス」で広島に！ 青年実行委員会が結成される - 山梨

今年の特徴は、何と言っても若者・青年が自主的に実行委員会をつくり、「青年バス」で広島の世界大会に参加しようとしていることです。

6月中旬、実行委員会も結成され任務分担もおこない、学習もすすめています。経費は大会参加費だけで、あとは多くの人に意義を訴え、カンパしてもらおうと奮闘。安い宿舎も見つけました。マイクロバスも予約、しかし何と言っても多くの人に訴えることが大切と団体めぐりを始めました。



世界大会へ200名以上の代表派遣を！ 7月18日の集約日にむけ代表選出を全道へ 北海道

北海道では、「すみやか」署名の促進をはじめ、学習会（道勤医労、新婦人道本部）、平和の集い（北見、江別、小樽）、原爆展（七飯、札幌豊平）、「平和の波行動」（釧路）などが計画、実行され、世界大会代表選出、募金運動がとりくまれていきます。この間、「すみやか」署名は、北海道勤医協労（6千枚）、オホーツク勤医労（1万枚）、道北勤医協（1千枚）、札幌菊水薬局（5千枚）、帯広（1千枚）へ、2万3千枚が届いています。すでに道北原水協、帯広原水協、（連日署名行動）が計画され、さつぽろ平和行動実行委員会も始動、原爆死没者追悼会、灯籠流し（札幌、長万部、留萌、小樽）、「平和の鳴鐘行動」（岩見沢、名寄、江別、帯広、十勝）が勤医7月18日の集約日にむけ、全道で代表選出・指名登録を広げていきます。

（北海道ニュースより）